

科目名	Reading I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教員	土屋 真実 (実務経験：全日本空輸株式会社にて 4 年間客室乗務業務に携わる)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	この授業では主に、英語リーディングの総合的な力を向上することを目指す。 高校までに習った文法の基礎や英文読解の技術を復習しながら、多量の英文に触れ、速読で内容を把握できる力を身につけていく。そのために、英文の意味をまとまりで区切り、英語の語順のまま読解するフレーズリーディングの方法を学ぶ。さらにテキストの英文を用いて、リスニングの技能や語彙力、文法力も身につけていく。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、UNIT1 Walt Disney World (Reading) 2. UNIT1 Walt Disney World (Grammar ~ Listening) 3. UNIT2 The Rapid Development of the Coca-Cola Company (Reading) 4. UNIT2 The Rapid Development of the Coca-Cola Company (Grammar ~ Listening) 5. UNIT3 New York's Wall Street (Reading) 6. UNIT3 New York's Wall Street (Grammar ~ Listening) 7. UNIT4 Ingenuity (Reading) 8. UNIT4 Ingenuity (Grammar ~ Listening) 9. UNIT5 Adjusting to the Changing Times (Reading) 10. UNIT5 Adjusting to the Changing Times (Grammar ~ Listening) 11. UNIT6 Positive Thinking (Reading) 12. UNIT6 Positive Thinking (Grammar ~ Listening) 13. UNIT7 Luck is an Accidental Product (Reading) 14. UNIT7 Luck is an Accidental Product (Grammar ~ Listening) 15. UNIT8 Success Stories in the Business World (Reading)
使用テキスト ・教材等	The Secret Of Success
成績評価方法 及び 基準	授業時の小テスト及び、定期テスト 計 100 点満点中 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	履修内容の復習 小テストの予習
履修に 当たっての 留意点	履修した内容は必ず復習をすること

科目名	Reading I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教員	土屋 真実 (実務経験：全日本空輸株式会社にて 4 年間客室乗務業務に携わる)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	この授業では主に、英語リーディングの総合的な力を向上することを目指す。 高校までに習った文法の基礎や英文読解の技術を復習しながら、多量の英文に触れ、速読で内容を把握できる力を身につけていく。そのために、英文の意味をまとまりで区切り、英語の語順のまま読解するフレーズリーディングの方法を学ぶ。さらにテキストの英文を用いて、リスニングの技能や語彙力、文法力も身につけていく。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. UNIT8 Success Stories in the Business World (Grammar ~ Listening) 2. UNIT9 Original Art Works (Reading) 3. UNIT9 Original Art Works (Grammar ~ Listening) 4. UNIT10 What Provides Children with (Reading) 5. UNIT10 What Provides Children with (Grammar ~ Listening) 6. UNIT11 Jewish Education (Reading) 7. UNIT11 Jewish Education (Reading) (Grammar ~ Listening) 8. UNIT12 The Focus of History Education (Reading) 9. UNIT12 The Focus of History Education (Grammar ~ Listening) 10. UNIT13 The Significance of History (Reading) 11. UNIT13 The Significance of History (Grammar ~ Listening) 12. UNIT14 Speeches by Citizens (Reading) 13. UNIT14 Speeches by Citizens (Grammar ~ Listening) 14. UNIT15 Nightingale as a Reformer (Reading) 15. UNIT15 Nightingale as a Reformer (Grammar ~ Listening)
使用テキスト ・教材等	The Secret Of Success
成績評価方法 及び 基準	授業時の小テスト及び、定期テスト 計 100 点満点中 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	履修内容の復習 小テストの予習
履修に 当たっての 留意点	履修した内容は必ず復習をすること

科目名	児童英語教育 I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教員	長野 よしみ (実務経験:(株)スマイルイングリッシュクラブ等で 30 年間教務に携わる)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語学科で学ぶ学生を対象として、この講義では「将来の職場」になるかもしれない保育の現場を英語で学びます。役に立つ英語表現を通して文法事項をドリル形式で学び、英語の 4 技能 (聞く、話す、読む、書く) が身につくようにする。 また普通の英語の授業では出てこない基本語彙が身につくようにする。 また日本の児童に人気のある英語の歌を取り入れ、将来親になったときに役立つ歌の背景も学べるように配慮していく。児童英語教育に携わっている経験をもとに、季節の英語イベントなどを授業に取り入れ、その文化も一緒に教える。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新学期・園の人々・園舎 2. 登園・家族 3. 文法 if (仮説法の if、仮定法、仮定法過去完了) 4. 室内あそび・欠席の連絡 5. 文法 Let's/Let まちがえやすい動詞 (Let, make, have の用法) 6. 外あそび・遊具 7. 園庭・けんか 8. 文法 1 一般動詞・be 動詞 9. 昼食・献立法 10. 文法 Don't ~ 命令文 bring/take 三人称単数・現在/Can Can I~ 11. トイレ・お昼寝 12. 病気・身体の名称 13. 緊急連絡 14. 文法 2 疑問文・否定文・命令文 15. 前期事前テストの実施
使用テキスト ・教材等	新保育の英語
成績評価方法 及び 基準	8 割以上の出席と、口頭試験の評価 80 点、平常点 20 点の合計 100 点満点で 60 点以上のいずれをも満たした場合を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	教材についている QR コードを利用し、自宅で単語、重要な表現を覚えてくる。
履修に 当たっての 留意点	将来、学習した英語を使って働くことを意識して質疑応答に積極的に参加すること。

科目名	児童英語教育 I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教員	長野 よしみ (実務経験:(株)スマイルイングリッシュクラブ等で 30 年間教務に携わる)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語学科で学ぶ学生を対象として、この講義では「将来の職場」になるかもしれない保育の現場を英語で学びます。役に立つ英語表現を通して文法事項をドリル形式で学び、英語の 4 技能 (聞く、話す、読む、書く) が身につくようにする。 保育の現場で使われる英語は生活英語の宝庫であることから、食事、運動、手仕事といった場面に出てくる身近な語彙、説明したり、頼んだり、お礼を言ったり、注意したり、謝ったり、といった表現を学習して使えるようにする。 尚、後期の授業では実際児童英語スクールで行っているハロウィーンパーティー、クリスマスパーティーなどのイベントを授業に取り入れ、その文化も一緒に教える。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行事の案内状・電話連絡文法 We が主語 2. 運動会・動作 一般動詞過去形 3. ハロウィーンについて 4. 散歩 (1)・地図 場所を表す前置詞 5. 散歩 (1)・交通 命令文 6. お絵かき・お手紙書き What+名詞 7. クリスマスについて 8. 文法 3 前置詞 他動詞の目的語は省略できない 9. 雪の日・工作 時を表す前置詞 10. 降園・お知らせ 過去形 11. 連絡帳・乳児室 when 12. 家庭調査書・園行事 (1) will,can 13. 園だより・園行事 (2) 14. 文法 4 疑問詞を使った疑問文 15. Presentation 発表
使用テキスト ・教材等	新保育の英語
成績評価方法 及び 基準	8 割以上の出席と、口頭試験の評価 80 点、平常点 20 点の合計 100 点満点で 60 点以上のいずれをも満たした場合を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	教材についている QR コードを利用し、自宅で単語、重要な表現を覚えてくる。
履修に 当たっての 留意点	将来、学習した英語を使って働くことを意識して質疑応答に積極的に参加すること。

科目名	児童英語教育Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教員	田邊 美由紀（実務経験：（株）ジェイアール東海ツアーズ営業部に約4年、その後AEON Amity, ECC 外語学院などで教務に携わる。現在（株）えいごラボ代表）
学科・学年	英語本科2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	「J-Shine 認定 小学校英語指導者資格」の指導者育成認定団体、認定科目として、授業の計画、展開方法を小学校学習指導要領、その他各教育現場に応じて、実例に基づき指導。講義内容の充実、実技指導時間の拡充を図り、校内での英語科目と合わせて、受講生の英語力を高め、各教育現場、教授スタイルに柔軟に対応していく質の高い指導者の育成を目指す。既定の推薦規準を満たした者には、小学校英語指導者資格の準資格を付与し、50 時間の実地研修（インターンシップ）を行った者には、小学校英語指導者資格の正資格を与え、卒業時に認定する。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語教育について（児童英語教育の現状と今後） 2. 言語習得についての基礎知識 1（学習方法の提案） 3. 言語習得についての基礎知識 2 4. 言語習得についての基礎知識 3 5. 児童英語の指導法 1（レッスンプランの必要性と立て方の基本） 6. 児童英語の指導法 2（アクティビティの研究） 7. 児童英語の指導法 3（子供の心理・特性の研究：子供と大人の違い） 8. 児童英語の指導法 4（発話量の確保、悲しい子供を作らないルール設定の仕方） 9. 児童英語の指導法 5（デモンストレーションレッスン課題発表） 10. 児童英語の指導法 6（レッスンプラン作り/立案・推敲・仕上げ） 11. 児童英語の指導法 7（教材作り） 12. 児童英語の指導法 8（グループデモンストレーション） 13. 児童英語の指導法 9（最終発表 *実技試験） 14. 児童英語の指導法 10（フィードバック、総評など） 15. 前期のまとめ
使用テキスト ・教材等	<p>小学校英語 はじめる教科書（mpi 松香フォニックス出版）</p> <p>LONGMAN CHILDREN'S PICTURE DICTIONARY（ピアソン・ジャパン出版）</p> <p>New Let's Sing Together（アプリコット出版）、Phonics Workbook（えいごラボ制作）</p> <p>New Horizon Elementary Picture Dictionary / 学校図書</p>
成績評価方法 及び 基準	実技試験（模擬レッスン）による評価 50 点、実技試験におけるプリント提出 30 点、平常点 20 点により評価、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語力だけでなく、英会話力の向上にも積極的に取り組んで欲しい。同時に英検 2 級、TOEIC600 点以上を取得すること。
履修に 当たっての 留意点	児童英語講師を目指すものとして、学習方法の改善・考案や英語力向上のために何ができるかを常に意識すること。

科目名	児童英語教育Ⅱ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教員	田邊 美由紀（実務経験：（株）ジェイアール東海ツアーズ営業部にて約4年、その後AEON Amity, ECC 外語学院などで教務に携わる。現在（株）えいごラボ代表）
学科・学年	英語本科2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	「J-Shine 認定 小学校英語指導者資格」の指導者育成認定団体、認定科目として、授業の計画、展開方法を小学校学習指導要領、その他各教育現場に応じて、実例に基づき指導。講義内容の充実、実技指導時間の拡充を図り、校内での英語科目と合わせて、受講生の英語力を高め、各教育現場、教授スタイルに柔軟に対応していける質の高い指導者の育成を目指す。既定の推薦規準を満たした者には、小学校英語指導者資格の準資格を付与し、50 時間の実地研修（インターンシップ）を行った者には、小学校英語指導者資格の正資格を与えることとする。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童英語の指導法 11（子供の叱り方、誉め方研究） 2. 児童英語の指導法 12（子供の興味の対象の研究） 3. 児童英語の指導法 13（小人数クラスと大人数クラス） 4. 児童英語の指導法 14（モノリンガルクラスとバイリンガルクラス） 5. 児童英語の指導法 15（具体的なアクティビティと注意点） 6. 児童英語の指導法 16（フォニックスの指導法） 7. 児童英語の指導法 17（テキスト以外のカリキュラムの組み方） 8. 児童英語の指導法 18（デモンストレーションレッスン課題発表） 9. 児童英語の指導法 19（レッスンプラン作り/立案・推敲・仕上げ） 10. 児童英語の指導法 20（グループデモンストレーション） 11. 実技試験（最終発表、レッスンプラン提出） 12. 実技試験のフィードバック、総評とインターンシップについて 13. 教材の選定方法（学習目標・対象年齢・使いやすさ・教育方針・利点欠点など） 14. 保護者対応・就職試験対策について 15. 後期のまとめ
使用テキスト ・教材等	<p>小学校英語 はじめる教科書（mpi 松香フォニックス出版）</p> <p>LONGMAN CHILDREN'S PICTURE DICTIONARY（ピアソン・ジャパン出版）</p> <p>New Let's Sing Together（アプリコット出版）、Phonics Workbook（えいごラボ制作）</p> <p>New Horizon Elementary Picture Dictionary / 学校図書</p>
成績評価方法 及び 基準	実技試験（模擬レッスン）による評価 50 点、実技試験におけるプリント提出 30 点、平常点 20 点により評価、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語力だけでなく、英会話力の向上にも積極的に取り組んで欲しい。同時に英検 2 級、TOEIC600 点以上を取得すること。
履修に 当たっての 留意点	児童英語講師を目指すものとして、学習方法の改善・考案や英語力向上のために何ができるかを常に意識すること。

科目名	Hotel Management (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ 選択
担当教員	伊藤 崇史 (実務経験：株式会社ホテルグランコート名古屋にて 23 年間 管理業務、 2021 年 7 月より株式会社名鉄ホテルホールディングス人事総務部長)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ホスピタリティ産業の中核に位置するホテル運営において、重要な要素であるマネジメントの意識向上に重点を置きます。観光業、ホテルが社会的に担っている役割を理解し、また、ホテルのサービス業務のそれぞれの意義について知識や興味を深めることで、「収入」・「費用」・「利益」等社会人として必要な経営への考察力を高めていきます。授業は、講義形式とグループワークにより進めていき、個人またはグループによるプレゼンテーションの機会を持ちます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. ホテルを取巻く環境 3. ホテルの果たす役割 4. ホテルマネジメントの基本 (マネジメントの必要性とマネジメント手法) 5. ホテルマネジメントの基本 (マネジメントに必要なスキルとマネジメントの定義) 6. ホテルの「経営」と「運営」(マネジメントのポイント) 7. ホテルの「経営」と「運営」(外資系と日系ホテルの組織論) 8. ホテルの「経営」と「運営」(ホテルの収益構造) 9. 宿泊部門のマネジメント 10. 客室の料金体系とレベニューマネジメント 11. 料飲部門のマネジメント 12. 宴会部門のマネジメント 13. ヒューマン・リソース・マネジメント (外資系と日系ホテルの人材の捉え方) 14. ヒューマン・リソース・マネジメント (タレントマネジメント) 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	ホテルマネジメント (一般財団法人 日本ホテル教育センター)
成績評価方法 及び 基準	期末試験 100 点満点中、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	新聞やニュースなどの情報ソースから、「観光」「ホテル」といったワードに気を配り、小さなことにも興味を持ち、自分なりの分析をするよう努めてください。
履修に 当たっての 留意点	係数管理など、これまで関わらない内容もあるかもしれませんが、苦手意識を持つことが無いよう、わからないことはその日に解決しましょう。

科目名	Hotel Management (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教員	伊藤 崇史 (実務経験：株式会社ホテルグランコート名古屋にて 23 年間 管理業務、 2021 年 7 月より株式会社名鉄ホテルホールディングス人事総務部長)
学科・学年	英語本科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ホスピタリティ産業の中核に位置するホテル運営において、重要な要素であるマネジメントの意識向上に重点を置きます。観光業、ホテルが社会的に担っている役割を理解し、また、ホテルのサービス業務のそれぞれの意義について知識や興味を深めることで、「収入」・「費用」・「利益」等社会人として必要な経営への考察力を高めていきます。授業は、講義形式とグループワークにより進めていき、個人またはグループによるプレゼンテーションの機会を持ちます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ヒューマン・リソース・マネジメント (HRM の実践例) 2. 危機管理 (観光産業における危機管理) 3. 危機管理 (リスクマネジメントとクライシスマネジメント) 4. ホテルビジネスを取巻く危機要因 5. ホテルビジネスにおけるリスクカテゴリー 6. 事業継続計画と事業継続マネジメント 7. 防災・事故管理 8. 防犯管理 9. 日本のホテルにおけるマネジメント課題 (2010 年代) 10. 日本のホテルにおけるマネジメント課題 (2020 年代①) 11. 日本のホテルにおけるマネジメント課題 (2020 年代②) 12. 旅行の意義と旅行者ニーズの変化① 13. 旅行の意義と旅行者ニーズの変化② 14. 宿泊施設の存在意義 15. 後期まとめ
使用テキスト ・教材等	ホテルマネジメント (一般財団法人 日本ホテル教育センター)
成績評価方法 及び 基準	期末試験 100 点満点中、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	新聞やニュースなどの情報ソースから、「観光」「ホテル」といったワードに気を配り、小さなことにも興味を持ち、自分なりの分析をするよう努めてください。
履修に 当たっての 留意点	係数管理など、これまで関わらない内容もあるかもしれませんが、苦手意識を持つことが無いよう、わからないことはその日に解決しましょう。

科目名	中国語（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ 選択
担当教員	高木 佐知子（実務経験：2010 年より中国語通訳者。全国通訳案内士資格 2013 年取得）
学科・学年	英語本科 4 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>中国語を初めて学ぶ学生を対象に、中国語の標準的な発音・ピンイン・基本的な文法の習得を目標とする。中国語は、発音と四声の習得が初級段階のカギとなるため、最初に時間をかけて発音と四声を学習する。その後も授業の中で、学生に個別に音読させ発音を矯正していく。</p> <p>テキスト課文を暗記し、中国語から日本語、日本語から中国語への訳がスムーズにできることを目指し、中国語を定着させる。（講義）</p> <p>[到達目標]</p> <p>①発音、四声に触れる。ピンインを理解する。②中国語の基本文型に慣れる。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語についての説明 2. 発音編（一）声調（二）単母音（三）子音 1 3. 発音編（四）子音 2（五）複母音（六）鼻母音 4. 発音編（七）声調の変化・軽声 あいさつ用語 授業用語 5. 第 1 課 本文と文法ポイント：人称代名詞 動詞“是” 名前の聞き方・言い方 6. 第 1 課 本文復習 ドリル問題 7. 第 2 課 本文と文法ポイント：指示代詞 動詞述語文 8. 第 2 課 本文復習 ドリル問題 9. 第 3 課 本文と文法ポイント：形容詞述語文 所有の“有” 10. 第 3 課 本文復習 ドリル問題 11. 第 4 課 本文と文法ポイント：存在の“有”と“在” 反復疑問文 12. 第 4 課 本文復習 ドリル問題 13. 単語、文法事項の復習、発音練習 14. 単語、文法事項の復習、発音練習 15. 単語、文法事項の復習、発音練習
使用テキスト ・教材等	チャレンジ！一年生の中国語： 朝日出版社
成績評価方法 及び 基準	定期試験、発音テスト、授業への取組みを総合して評価（計 100 点満点）。 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>テキスト課文、簡体字をノートに書いて練習する。</p> <p>授業で学習した課文を、暗唱できるまで繰り返し音読する。</p>
履修に 当たっての 留意点	<p>授業中は、黙読ではなく、しっかり声を出して練習する。</p> <p>書く練習をするので、各自ノートを一冊準備する。</p>

科目名	中国語（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ 選択
担当教員	高木 佐知子（実務経験：2010 年より中国語通訳者。全国通訳案内士資格 2013 年取得）
学科・学年	英語本科 4 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>中国語を初めて学ぶ学生を対象に、中国語の標準的な発音・ピンイン・基本的な文法の習得を目標とする。</p> <p>前期に引き続き、テキストに沿って進め、基本的な文法事項・語彙・発音・簡単な会話の習得を目指す。授業中は学生に個別に音読させ、発音・四声を矯正していく。</p> <p>テキスト課文を暗記し、中国語から日本語、日本語から中国語への訳がスムーズにできることを目指し、中国語を定着させる。簡単なコミュニケーションでよく使われる表現を習得する。（講義）</p> <p>[到達目標]</p> <p>中国語検定準 4 級レベル到達を目標とする。高校履修者は中国語検定 4 級レベルをめざす。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<p>16. 1 年前期総復習、発音の見直し</p> <p>17. 1 年前期総復習、発音の見直し</p> <p>18. 第 5 課 本文と文法ポイント：数詞 量詞 二重目的語をとる動詞</p> <p>19. 第 5 課 本文復習 ドリル問題</p> <p>20. 第 6 課 本文と文法ポイント：時間の表現 連動文</p> <p>21. 第 6 課 本文復習 ドリル問題</p> <p>22. 第 7 課 本文と文法ポイント：時刻の表現 動量補語</p> <p>23. 第 7 課 本文復習 ドリル問題</p> <p>24. 第 8 課 本文と文法ポイント：動詞の連体修飾</p> <p>25. 第 8 課 本文復習 ドリル問題</p> <p>26. 単語、文法事項の復習、発音練習</p> <p>27. 単語、文法事項の復習、発音練習</p> <p>28. 中国語検定対策問題 準 4 級の問題演習</p> <p>29. 中国語検定対策問題 準 4 級の問題演習</p> <p>30. 中国語検定対策問題 準 4 級の問題演習</p>
使用テキスト ・教材等	チャレンジ！一年生の中国語： 朝日出版社
成績評価方法 及び 基準	定期試験、発音テスト、授業への取組みを総合して評価（計 100 点満点）。 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	テキスト課文、簡体字をノートに書いて練習する。 授業で学習した課文を、暗唱できるまで繰り返し音読する。
履修に 当たっての 留意点	授業中は、黙読ではなく、しっかり声を出して練習する。 書く練習をするので、各自ノートを一冊準備する。

科目名	Advanced Grammar II (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ 選択																																																																											
担当教員	八神 光子 (実務経験：国際センター、ライオンズ、ロータリークラブでの通訳、翻訳業務)																																																																											
学科・学年	英語本科 4 年																																																																											
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	グローバル化した社会で、より多くの外国人とのコミュニケーションが必要に迫られています。 アメリカ人の文化や生活をニュースなどを通してリスニングを強化し、強弱のリズム、単語などを習得して、世界に通用する英語力向上を目指します。																																																																											
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<table border="0"> <tr> <td>1. Unit1</td> <td>読者の魅力を他の多くの子どもたちに</td> <td>リスニング</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. Unit1</td> <td>読者の魅力を他の多くの子どもたちに</td> <td>リーディング</td> <td>単語</td> <td>英作文</td> </tr> <tr> <td>3. Unit2</td> <td>卒業式のサプライズ</td> <td>リスニング</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. Unit2</td> <td>卒業式のサプライズ</td> <td>リーディング</td> <td>単語</td> <td>英作文</td> </tr> <tr> <td>5. Unit3</td> <td>ホームレスの人達を救いたい</td> <td>リスニング</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. Unit3</td> <td>ホームレスの人達を救いたい</td> <td>リーディング</td> <td>単語</td> <td>英作文</td> </tr> <tr> <td>7. Unit4</td> <td>私を月まで連れて行って</td> <td>リスニング</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. Unit4</td> <td>私を月まで連れて行って</td> <td>リーディング</td> <td>単語</td> <td>英作文</td> </tr> <tr> <td>9. Unit5</td> <td>ビーチサイドで人生相談</td> <td>リスニング</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10. Unit5</td> <td>ビーチサイドで人生相談</td> <td>リーディング</td> <td>単語</td> <td>英作文</td> </tr> <tr> <td>11. Unit6</td> <td>ワクチン配布の世界的不平等</td> <td>リスニング</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12. Unit6</td> <td>ワクチン配布の世界的不平等</td> <td>リーディング</td> <td>単語</td> <td>英作文</td> </tr> <tr> <td>13. Unit7</td> <td>日本のサーフィン事情</td> <td>リスニング</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14. Unit7</td> <td>日本のサーフィン事情</td> <td>リーディング</td> <td>単語</td> <td>英作文</td> </tr> <tr> <td>15. Unit1 から Unit7 までの復習</td> <td></td> <td></td> <td>単語テスト</td> <td></td> </tr> </table>	1. Unit1	読者の魅力を他の多くの子どもたちに	リスニング			2. Unit1	読者の魅力を他の多くの子どもたちに	リーディング	単語	英作文	3. Unit2	卒業式のサプライズ	リスニング			4. Unit2	卒業式のサプライズ	リーディング	単語	英作文	5. Unit3	ホームレスの人達を救いたい	リスニング			6. Unit3	ホームレスの人達を救いたい	リーディング	単語	英作文	7. Unit4	私を月まで連れて行って	リスニング			8. Unit4	私を月まで連れて行って	リーディング	単語	英作文	9. Unit5	ビーチサイドで人生相談	リスニング			10. Unit5	ビーチサイドで人生相談	リーディング	単語	英作文	11. Unit6	ワクチン配布の世界的不平等	リスニング			12. Unit6	ワクチン配布の世界的不平等	リーディング	単語	英作文	13. Unit7	日本のサーフィン事情	リスニング			14. Unit7	日本のサーフィン事情	リーディング	単語	英作文	15. Unit1 から Unit7 までの復習			単語テスト	
1. Unit1	読者の魅力を他の多くの子どもたちに	リスニング																																																																										
2. Unit1	読者の魅力を他の多くの子どもたちに	リーディング	単語	英作文																																																																								
3. Unit2	卒業式のサプライズ	リスニング																																																																										
4. Unit2	卒業式のサプライズ	リーディング	単語	英作文																																																																								
5. Unit3	ホームレスの人達を救いたい	リスニング																																																																										
6. Unit3	ホームレスの人達を救いたい	リーディング	単語	英作文																																																																								
7. Unit4	私を月まで連れて行って	リスニング																																																																										
8. Unit4	私を月まで連れて行って	リーディング	単語	英作文																																																																								
9. Unit5	ビーチサイドで人生相談	リスニング																																																																										
10. Unit5	ビーチサイドで人生相談	リーディング	単語	英作文																																																																								
11. Unit6	ワクチン配布の世界的不平等	リスニング																																																																										
12. Unit6	ワクチン配布の世界的不平等	リーディング	単語	英作文																																																																								
13. Unit7	日本のサーフィン事情	リスニング																																																																										
14. Unit7	日本のサーフィン事情	リーディング	単語	英作文																																																																								
15. Unit1 から Unit7 までの復習			単語テスト																																																																									
使用テキスト ・教材等	CBS NewsBreak																																																																											
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、フレーズ 20 点、学年（前期、後期）筆記、リスニングテスト 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とします。																																																																											
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から英会話に興味を持ち、色々な場面を意識して必要な単語・フレーズを覚え、言葉に出してコミュニケーション力を上げる努力をしてください。																																																																											
履修に 当たっての 留意点	ペアワークに積極的に参加してください。 テキストの単語などは必ず習得してください。																																																																											

科目名	Advanced Grammar II (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ 選択
担当教員	八神 光子 (実務経験：国際センター、ライオンズ、ロータリークラブでの通訳、翻訳業務)
学科・学年	英語本科 4 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	グローバル化した社会で、より多くの外国人とのコミュニケーションが必要に迫られています。 アメリカ人の文化や生活をニュースなどを通してリスニングを強化し、強弱のリズム、単語などを習得して、世界に通用する英語力向上を目指します。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit8 楽曲を作りながら音楽ビジネスも学ぶ高校生たち リスニング 2. Unit8 楽曲を作りながら音楽ビジネスも学ぶ高校生たち リーディング 単語 英作文 3. Unit9 コロナ禍で時代遅れのタイプライターが大人気 リスニング 4. Unit9 コロナ禍で時代遅れのタイプライターが大人気 リーディング 単語 5. Unit10 リモートで子供たちの学習を支援する高校生たち リスニング 6. Unit10 リモートで子供たちの学習を支援する高校生たち リーディング 単語 7. Unit11 アメリカの感謝祭の意義 リスニング 8. Unit11 アメリカの感謝祭の意義 リーディング 単語 英作文 9. Unit12 TikTok で集まって孤独感に抗う リスニング 10. Unit12 TikTok で集まって孤独感に抗う リーディング 単語 英作文 11. Unit13 ユニークな日本の自動販売機 リスニング 12. Unit13 ユニークな日本の自動販売機 リーディング 単語 英作文 13. Unit14 パンデミック下でのアメリカ流就活活動 リスニング 14. Unit14 パンデミック下でのアメリカ流就活活動 リーディング 単語 英作文 15. Unit15 日本の安全を守る警察の役割 リスニング リーディング
使用テキスト ・教材等	CBS NewsBreak
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、フレーズ 20 点、学年（前期、後期）筆記、リスニングテスト 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から英会話に興味を持ち、色々な場面を意識して必要な単語・フレーズを覚え、言葉に出してコミュニケーション力を上げる努力をしてください。
履修に 当たっての 留意点	ペアワークに積極的に参加してください。 テキストの単語などは必ず習得してください。